

令和元年度 全国学力学習状況調査報告

丸子中央小学校

本年度の全国学力学習状況調査の結果について報告させていただきます。学年全体の傾向になりますが、ご家庭での学習の参考にしていただけたらと思います。特に課題のある部分については、中学進学に向けて補充学習を行っていききたいと思います。※学力調査の内容は、5年生までの学習内容です。

【国語】

- 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、筆者の考えを明確にしながら読む（読む能力）が比較的高い傾向にありました。低学年の頃から読書に取り組んだり、文章を読んだりしてきた成果が表れていることがうかがえます。
- 話したり聞いたりする力の得点率が高い傾向があります。日常生活の中で家族や友達の話を聞いたり、授業や活動などで相手に伝えたりすることの積み重ねが成果となっていると考えられます。
- △漢字については、「調査のたいしょう」「かんしんを持つ」のように、同じ読み方がある漢字の書きに課題が見られました。
- △説明文を読み、自分の考えを記述する問題では、全国平均に比べ「無回答」が多い結果となりました。書くことを諦めてしまったという声もありました。

対策として…

文章を「書くこと」に課題が見られます。日記（つむぐ）に、「既習の漢字はすべて使う」、「その時の自分の気持ちやできごとについての自分の考え」を必ず入れる等、条件を加えるだけでも、毎日の積み重ねによって大きな力になっていくと考えられます。漢字については、学習したその時だけ覚えるのではなく、熟語や用法とセットで覚えるようにしたり、普段から意識して使うようにしたりしていくことを大切にしていきたいです。中学進学に向けて、日記の書き方も見直していけたらと思います。また、説明文など、普段あまり触れることのない文章については、段落ごとに整理したり筆者の考えを要約したりと時間をかけながら扱ってきました。残りの授業でも意識して取り組んでいきたいと思います。

【算数】

- 「その式が何を意味しているかを考える問題」、「提示された式の値を変えて活用する問題」といった、式を利用する問題の得点率が高い結果となりました。問題文と式を結び付けて考える力が定着していることが伺えます。
- グラフから傾向を読み取る問題の正答率が高い傾向があります。グラフや資料を読み取ったり、そこから言えることを考察したりする力があります。
- △四則（加法・減法・乗法・除法）の混合計算に課題が見られました。さらに、小数が加わることで計算ミスや小数点の位置のミスなど、混乱が見られました。
- △図形を変形させて面積を求めたり、回転させたりひっくり返したりして重なる図形を探したりする問題の正答率が低い傾向がありました。

対策として…

12月より、算数補充学習（コース別学習）を定期的に行っています。計算問題を中心に、過去に遡って学習をしたり自分の弱点を見つけたりして、自分の苦手をなくせるように取り組んでいます。

図形を頭の中でイメージしながら回転させたりひっくり返したりできるようにするためには、日頃から実物を操作したり、実際に見たりすることの積み重ねにより力がついていくと考えられます。日々の学習の中でも、できるだけ具体物を用いながら、頭の中で図形や立体をイメージできるように取り組んでいきたいと思います。

児童質問紙から

- ・「朝食を毎日食べていますか」「毎日同じくらいの時刻に寝ていますか」この2つの質問に、「当てはまる」と答えた児童が全国平均に比べやや少なかったです。また、「家でテレビやDVDを見たり、ゲームやインターネットをしたりしている」という質問については、全国平均に比べて多い傾向にあります。ご家庭で利用時間の管理をしていただいていると思いますが、引き続きよろしく願いいたします。